

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 東洋会

法人本部 ・ 養護(盲)老人ホーム喜望園
喜望園訪問介護事業所
とうようこども園 ・ 学童保育とうようキッズ
企業主導型事業所内保育所東洋保育園

令和4年度の主な事業報告

社会福祉法人 東洋会

社会福祉事業

1 法人本部関係

1) 理事会開催状況

開催年月日	出席者数	決議事項
第1回 令和4年6月7日	理事6名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業報告について 令和3年度決算報告について(監事監査意見報告) 定款変更について 評議員補欠選任候補者の推薦について 就業規則の改正について 育児介護休業等に関する規則の改正について 給与退職金規程の改正について 運営規程の改正について 利益相反取引について 定時評議員会の開催について
第2回 令和4年12月14日	理事5名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> とうようこども園 園長の選任について 理事の辞任に伴う後任理事候補者の選任について 給与退職金規程の改正について 公益通報者保護規程の策定について とうようこども園 園則兼運営規程の改正について 令和4年度第2回評議員会の開催について
臨時理事会 令和5年2月20日	理事6名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> 喜望園の定員変更申請について
第3回 令和5年3月16日	理事5名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度補正予算について 令和5年度資金収支予算について 令和5年度事業計画について 給与退職金規程の改正について 令和4年度第3回評議員会の開催について

2) 評議員会開催状況

開催年月日	出席者数	決議事項
第1回(定時議会) 令和4年6月17日	評議員7名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業報告について 令和3年度決算報告について(監事監査意見報告) 定款変更について
第2回 令和4年12月22日	評議員6名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> とうようこども園 園長の選任について 理事の辞任に伴う後任理事の選任について
第3回 令和5年3月24日	評議員5名 監事0名	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度補正予算について 令和5年度資金収支予算について 令和5年度事業計画について

3) 決算・監事監査の実施

令和4年5月25日 午前10時00分～午前11時30分迄

開催場所：喜望園1階会議室 吉松 敏晴・大森 文男両監事にて実施

2 喜 望 園 関 係

1 運 営 管 理

- ・ 外部介護サービス利用者は、個別のサービスの提供を受けることにより、実情に合ったより質の高い介護・介助サービスを利用でき利用者の安心につながった。
- ・ 他の関係機関、施設及び医療機関等との連携を更に強化することで、多種多様なニーズに対応可能な施設運営に努めた。
- ・ 利用者の高齢化に伴い更なる自立支援を目指せるよう環境の整備に心がけ、清潔・安全でより過ごしやすい生活環境の提供に努めた。
- ・ 養護盲老人の専門施設として、介護技術の向上を目指し施設内での研修に取り組んだ。
- ・ 防災用大型LPガス発電機を設置した。

2 相 談 ・ 援 助 サービス

- ・ 各種業務マニュアルを見直し・再構築を実施し質の高いサービス・ケアの提供に努めた。更に必要な情報の共有化を図ることで、利用者個人に合ったサービス・ケアが提供できると共に各部署間のより綿密な連携につながった。

3 地 域 交 流

- ・ 関係各所の団体との情報や意見の交換を行い、地域に根ざした地域福祉の発信源となるよう施設運営を目指した。
- ・ 生活支援体制整備事業として「花のまちづくり」に取り組んだ。
- ・ コロナウィルス感染予防のため、例年実施している地域住民との交流を目的とした「ふれあい食事会」については開催を中止した。

4 入退所状況

- ・ 4年度内入所者数 9名（男性 4名・女性 5名）
 - ・ 4年度内退所者数 16名（男性 7名・女性 9名）
- 令和5年3月31日現在入所者数 50名

* 研修

令和4年度研修等参加状況

(外部機関による研修・定例会)

▼外部研修

開催日程	研修会名	開催場所
7月15日	和歌山県老人福祉施設協議会 ソーシャルワーク研修会	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛
2月15日	近畿老人福祉施設協議会 施設長研修会	オンライン研修
3月14日	奈良県老人福祉施設協議会 養護老人ホーム施設職員研修会	奈良県社会福祉総合センター
3月24日	和歌山市老人福祉施設協議会 4年度施設長・管理者研修会	アバローム紀の国

▼園内研修

開催日程	研修会名	対象者
6月	手洗い研修	全職員
11月	コロナ発症時の対応研修	全職員
1月	人権擁護・虐待防止研修	全職員
2月	事故発生防止研修	全職員

* 主な設備・修繕工事実施状況

実施月	実施内容	金額
6月	屋上防水修繕工事	¥193,600
8月	宿直室エアコン設置	¥110,000
1月	浄化槽設備修理	¥561,000
	天井水漏れ修理	¥284,900
3月	LPガス発電機設置	¥9,130,000
	非常放送設備取替工事	¥1,892,000
	非常照明設備修理	¥687,500
合 計		¥12,859,000

* 医務・看護関係

1 定期健康診断(利用者・職員)

利用者・全職員・・・令和4年10月26日(水)他

利用者・・・胸部レントゲン・血液検査・尿検査・心電図・血圧・身長・体重

職員・・・胸部レントゲン・血液検査・尿検査・心電図・血圧・身長・体重

視力・聴力・腰痛検査

利用者・夜勤従事職員・・・令和4年4月28日(水)他

利用者・・・尿検査・心電図

職員・・・尿検査・心電図・血液検査

腰痛検査(腰部に負担のかかる作業に従事する職員)

2 検査後精査実施

米田医院・宇都宮病院・その他医療機関

3 インフルエンザ予防接種

利用者・・・全員接種

職員・・・1名接種せず

発症者・・・なし

コロナワクチン予防接種

利用者・・・全員接種

職員・・・12名接種せず

発症者・・・47名

4 嘱託医による週2回の診察

眼科医による月1回の往診

5 医療機関別入院者状況表

病 院 名	延人数	延泊数	主 な 病 名
和歌山生協病院	7	225	肺炎、肝機能低下、腎機能低下、精査目的等
和歌山日赤病院	6	84	重症肺炎、硬膜下血腫等
宇都宮病院	6	20	大腸検査、肺炎
田村病院	4	106	統合失調症
誠佑記念病院	3	38	肺動脈血栓、心不全、貧血
済生会和歌山病院	2	33	脳出血、新型コロナウイルス、細菌性肺炎
紀泉KDクリニック	1	83	腎機能低下、胸水
和歌山病院	1	73	肺結核
堀口記念病院	1	39	低体温
那賀病院	1	5	鼠径ヘルニア
和歌山医科大学病院	1	3	細菌性肺炎
殿田医院	1	1	鼠径ヘルニア
延べ数合計	34	710	

6 主な外来通院診療科目

通院診療科目	延人数	通院診療科目	延人数
内 科	38	皮 膚 科	3
循環器科	2	耳鼻咽喉科	10
外 科	8	精神科	198
整形外科	10	歯 科	78
泌尿器科	16	脳外科	1
		延合計人数	364

※受診者数には往診(内科、眼科)の受診者は含まない。

* 調理・食事関係

- 1 利用者の食事形態を見直し、献立作成をおこなった。
- 2 利用者状況等の伝達を密にするため、午前、午後と二回のミーティングを実施した。
- 3 調理員専用日誌を作成し、リーダー制を導入した。
- 4 主食を計量し、個々の量を調整した。（カロリー摂取制限）
- 5 味付けを統一するため、調理マニュアルを作成し調理した。
- 6 利用者の状態に合わせた食器、スプーン等を準備し使用してもらった。
（主菜について常食者と刻み食者用の器を変えた）
- 7 食物アレルギーがある方には、代替えの食事を提供した。
- 8 厨房環境の衛生管理、食品の衛生に努め、随時点検を行った。
- 9 食中毒防止のため、ブラストチラーによる冷却調理を行った。
- 10 毎週、食品の賞味期限をチェックし、月末には在庫チェックを行った。
- 11 温蔵庫を導入したことにより、副食を適温で提供することができた。
主食・汁物についても、順次配膳し、適温で提供することができた。
- 12 たこ焼き、お好み焼きパーティーを実施し、利用者に提供した。
- 13 利用者を楽しんでいただけるよう、おやつクッキングとしてフルーツサンドを一緒に作った。
- 14 行事食として、クリスマスにはショートケーキ、正月にはやわらかおせち、ひな祭りにはさくらんぼゼリーなど季節感のあるメニューを提供した。
- 15 和歌山市の嚥下食一覧表を参考にして、嚥下調整食1・嚥下調整食2・嚥下調整食3・嚥下調整食4と主食と副食の形態を分類した。
- 16 ゼリー食の食事形態の方には、酵素を使ってゼリー状のお粥を作り、副食にはソフト食を提供した。
- 17 令和3年12月から調理作業の効率化を図るため、急速冷凍された調理済み食品を再加熱し提供する、クックチルシステムによる給食の提供を開始した。

* 防災関係

- 1 利用者が高齢視覚障がい者であり、病弱化が進行している事を十分に配慮しながら火災・地震・洪水などの災害発生時に対応できるよう利用者、職員の防災意識の喚起、防災への理解度向上に取り組んだ。
- 2 日常業務において重度者の状態についての情報を共有化し、緊急時においても迅速な対応が出来るよう配慮している。
- 3 防災会議を通じて、避難経路を習得できるよう取り組んだ。
- 4 BCP(事業継続計画)の作成に取り組んだ。

当施設は養護盲老人施設という環境である為、恒常的に啓蒙活動を実施し災害時の対応、防火などの意識高揚に心がけなければならない、職員の意識・理解度向上が責務であると考えています。非常用食品・非常時の避難経路確認・火の始末・災害情報の収集、伝達など多岐にわたる対応を日常的・恒常的に心がけております。

令和4年度 養護（盲）老人ホーム 喜望園 事業報告

	生活支援計画				職員関係	設備・整備関係	保守点検等
	年間行事計画	月別計画	クラブ・余暇活動	その他			
4月	お花見	訪問理美容 カンファレンス サンキョー配達			職員会議 事故防止委員会 職員研修 (人権擁護・虐待防止) 健康診断	屋外清掃 害虫駆除 空調機清掃	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
5月	端午の節句の集い	訪問理美容 カンファレンス 防災訓練 サンキョー配達		菖蒲湯	防災訓練	害虫駆除 食器・食器棚点検	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
6月	お楽しみ会 七夕の集い	訪問理美容 カンファレンス サンキョー配達 衣類訪問販売			腰痛検査 職員研修（感染症／食中毒）	害虫駆除 厨房内清掃 冷凍・冷蔵庫内点検 空調切替	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
7月	創立記念	訪問理美容 カンファレンス サンキョー配達			職員研修（事故発生防止）	害虫駆除 車両清掃	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
8月	お盆の法要	訪問理美容 カンファレンス サンキョー配達				害虫駆除 空調機清掃	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
9月	敬老の集い	訪問理美容 カンファレンス サンキョー配達		お彼岸の法要	職員研修（身体拘束） 嗜好調査	害虫駆除	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
10月		訪問理美容 カンファレンス サンキョー配達 健康診断			健康診断 職員研修（虐待防止）	害虫駆除 貯水槽清掃・消毒	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス 水質検査 建築物調査及び 設備定期検査
11月	お楽しみ会	訪問理美容 カンファレンス 防災訓練 サンキョー配達	クッキングクラブ	インフルエンザ予防接種	インフルエンザ予防接種 防災訓練 職員研修（感染症／食中毒）	害虫駆除 空調切替	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
12月	クリスマス & 忘年会	訪問理美容 カンファレンス サンキョー配達		ゆず湯 年賀状受付		害虫駆除 食器・食器棚点検 冷蔵庫点検 空調機清掃 ワックス掛け 車両清掃	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス ワックス掛け 車両清掃
1月	新年会	サンキョー配達				害虫駆除	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
2月		訪問理美容 カンファレンス サンキョー配達 防災訓練			事故防止委員会 腰痛検査	害虫駆除	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
3月	ひな祭りの集い	訪問理美容 カンファレンス サンキョー配達 衣類訪問販売		お彼岸の法要	職員研修（身体拘束） 事故防止委員会 (事故発生防止)	害虫駆除	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス (ボイラー) 消防点検
その他	◎生活支援体制整備事業 ◎研修及び勉強会 ・全盲老連各職種別研修、勉強会 ・その他、各職種別研修、会議 ・施設内研修、勉強会						

3 喜望園訪問介護事業所関係

指定居宅サービス事業者及び指定介護予防サービス事業者の指定を受け、平成18年4月1日に喜望園訪問介護事業所(養護盲老人ホーム内)を設立し、平成18年7月15日より喜望園入所者16名に対して介護サービスを開始。

「令和5年3月31日現在のスタッフ」

- ・ 管理者 1名(介護福祉士・訪問介護員と兼務)
- ・ サービス提供責任者 1名(介護福祉士・訪問介護員と兼務)
- ・ 訪問介護員 17名(管理者、サービス提供責任者除く)
(専任ヘルパー：介護福祉士 1名)
(支援員等と兼務：介護福祉士12名、初任者研修(旧2級ヘルパー) 4名)

「4年度月別・介護度別利用状況一覧」

月	介護度	人数	合計
4	1	0	15
	2	1	
	3	3	
	4	2	
	5	9	
5	1	0	16
	2	1	
	3	3	
	4	2	
	5	10	
6	1	0	17
	2	1	
	3	4	
	4	2	
	5	10	
7	1	0	16
	2	1	
	3	3	
	4	2	
	5	10	
8	1	0	17
	2	1	
	3	4	
	4	2	
	5	10	
9	1	0	15
	2	1	
	3	4	
	4	1	
	5	9	

月	介護度	人数	合計
10	1	0	16
	2	1	
	3	3	
	4	4	
	5	8	
11	1	0	16
	2	1	
	3	3	
	4	4	
	5	8	
12	1	0	15
	2	0	
	3	4	
	4	3	
	5	8	
1	1	0	14
	2	0	
	3	4	
	4	3	
	5	7	
2	1	0	14
	2	0	
	3	3	
	4	3	
	5	8	
3	1	0	15
	2	0	
	3	4	
	4	3	
	5	8	

4 令和4年度とうようこども園関係

1・保育園の運営

(1)定員150名

(2)年間入所児童数(各月初日現在)

単位:人

年 齢	クラス名	令和4年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和5年 1月	2月	3月
5歳児年長	ゆり	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
4歳児年中	すみれ	29	30	30	30	30	30	30	30	29	29	29	29
3歳児年少	もも	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
	さくら	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
2歳児	たんぽぽ	12	11	12	12	12	14	14	15	15	15	15	15
	ちゅうりっぷ	12	12	12	12	12	13	13	13	13	14	14	14
1歳児	つくし	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
0歳児乳児	つぼみ	6	7	8	9	9	9	9	9	10	12	12	12
合 計		137	138	140	141	141	144	144	145	145	148	148	148

* 詳細内訳は別紙

(3)乳児保育促進事業の実施

年度途中の需要に対応し、乳児保育の一層の推進を図ることを目的として実施した。

上記0歳児人数参照 1ヶ月平均乳児人数9.3人

(4)延長保育促進事業の実施

延長保育に対する需要に対応し、児童の福祉の増進を図ることを目的として実施した。

単位:人(延べ人数)

月	月別利用人数			月	月別利用人数			月	月別利用人数			月	月別利用人数		
	標準時間	短時間	1号認定児		標準時間	短時間	1号認定児		標準時間	短時間	1号認定児		標準時間	短時間	1号認定児
4	150	51	93	5	150	66	101	6	140	94	110	7	111	66	99
8	98	61	39	9	127	87	40	10	128	91	48	11	131	95	58
12	120	78	66	1	108	106	75	2	126	90	81	3	152	97	59

・標準時間保育認定児・・・18時～19時

・短時間認定児・・・7時～8時及び16時15分～19時

・1号認定児・・・7時～8時30分及び14時30分～19時

以上の範囲内で早朝・延長保育を実施

(5)障害児保育事業の実施

こども園の施設及び職員の配置等適切な保育条件のもとで障害児保育を実施した。

週に一度「こぐまちゃんの時間」を行い、配慮が必要な園児に保護者の同意の下、少人数で保育を行う。

令和4年度「こぐまちゃんの時間」利用人数 3名

(6)職員の状況

令和4年4月1日現在

単位:人

	園長	主幹	保育教諭	保育士	看護師	保育補助	栄養士	調理員	事務	学童指導員	計
正規職員	1	2	10	<1>			1	1	1	1	17<1>
非常勤職員			12	1	1	1		3		3	21

< > 育児休暇取得中

令和5年3月31日現在

単位:人

	園長	主幹	保育教諭	保育士	看護師	保育補助	栄養士	調理員	事務	学童指導員	計
正規職員	1	2	10				1	1	1	1	17
非常勤職員			13	1		2		3		3	22

< > 育児休暇取得中

(7)災害危険防止等防災訓練等の実施状況

	訓練内容	内 容
4月	全体集会	避難の仕方、訓練の大切さを伝え、避難経路の確認をした。
5月	火災	各クラス子どもの安全を確認しながら避難した。
6月	大雨・洪水(紀の川氾濫)	各クラス子どもの安全を確認しながら避難した。
7月	防犯	職員の劇を通じて安全教育をした。
8月	火災	各クラスで災害時の避難の仕方を話し合った。
9月	防犯	警察官に来てもらい防犯教室を開いた。
10月	地震	各クラス子どもの安全を確認しながら避難した。
11月	安全行動訓練	和歌山市一斉安全行動訓練に参加をした。
	火災	各クラス子どもの安全を確認しながら避難した。
12月	火災	各クラス子どもの安全を確認しながら避難した。
1月	地震	訓練の大切さを伝え、再確認をした。
2月	防犯	職員の劇を通じて安全教育をした。
3月	大規模災害想定	地震により園舎崩壊。各クラス子どもの安全を確認しながら園外に避難した。

*交通安全教室については、8月に和歌山市より交通安全指導員を派遣してもらい実施した。

(8)食育の実施状況

- ・クッキング保育(幼児クラスが年間を通じて行った)
- ・野菜の栽培
- ・給食展示
- ・栄養士による各保育室への「栄養のはなし」や月便りの配布

(9)幼児クラスの誕生会実施状況

- ・保護者参加は新型コロナウイルス感染対策のため未実施
クラス単位で園児と職員のみで行う(4.5歳児のみ合同)

(10)健康管理の実施状況

- * 園児
 - ・内科検診 4月 11月
 - ・眼科検診 5月
 - ・歯科検診 6月 11月
 - ・検尿検査 5月 11月
 - ・身長・体重測定(毎月)
 - ・毎月ほけんだよりを発行して、健康管理や感染症などの注意を促した。
 - * 職員
 - ・健康診断(新学期に1回)
 - ・検便検査(毎月1回)
 - ・インフルエンザワクチンの接種(年1回)
 - * 看護師・各保育室の巡回
- (R4.10.7まで)
- ・必要な園児への投薬
 - ・怪我の処置や体調不良児への対応

(11)専門講師による保育

日常の保育の中で、専門の知識を身に付けた外部講師が年間を通じて各年齢に合わせて行った

体操 <年少 年中 年長児> コスモスポーツクラブ
年間指導回数 38回

英語 <年少 年中 年長児> トレイシーイングリッシュスクール
年間指導回数 20回

ペン習字 <年長児> ペン習字講師 前田
年間指導回数30回

リトミック <全園児> 宮井音楽教室
年間指導数20回(8月と3月は職員研修)

(12)職員研修等

- ・1年を通じて県内外の研修会に参加をして資質向上に努めた。
- ・看護師による嘔吐物処理の研修を受けた。
- ・赤十字社和歌山支部による幼児安全法講習会を受けた。

(13)苦情解決相談窓口への申出

令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

申出件数 2 件 (園内で解決に至った)

(14)実習生・職場体験の受け入れ

・実習生	大阪こども専門学校	1名
	和歌山信愛女子短期大学	1名
	同志社女子大学	1名
・職場体験	和歌山信愛女子短期大学	4名

(15)地域との関わり

- ・未就園児のお子さんを対象にこども園内で年に11回「めばえルーム」を開催する予定だったが新型コロナウイルス感染対策のため7回の実施となった。
- ・未就園児親子を対象とする園庭開放は5月～2月で実施。6・8・9月は中止。
- ・三宝幼稚園年長児との交流は新型コロナウイルス感染対策のため未実施。
- ・川永小学校児童と年長児と交流会を10月26日に行う(小学校体育館)交流後、手紙を届ける。

(16)主な設備・改修工事・備品購入等実施状況

和歌山市より 交付金	・施設機能強化推進費	160,000円(補助金)	94,000円(自己資金)
	<非常食>	169,400円	(総合計)
和歌山市より 交付金	・緊急環境整備事業補助金	42,000円(補助金)	15,3800円(自己資金)
	<砂場メッシュカバー>	195,800円	(総合計)
卒園児保護者より 寄付金	・令和4年度卒園児	60,000円(寄付金)	103,700(自己資金)
	<ポータブルワイヤレスアンプ>	163,700円	(総合計)
	・駐車場アスファルト舗装	1,758,317円	
	・乳児用園庭遊具購入	1,000,000円	
	・園庭フェンスに看板設置	220,000円	

5 令和4年度東洋キッズ関係

(令和4年度 東洋キッズ事業報告)

- 4月 プラバンキーホルダー製作 こいのぼり製作
- 5月 子どもの日(おかしと作品持ち帰り) 避難訓練 野菜の苗植え
- 6月 傘製作
- 7月 七夕飾り クッキング(かき氷) 水遊び スイカ割り
- 8月 お楽しみ会 野菜の収穫 クッキング(かき氷) クラフトバンドのカゴ製作 水遊び
- 9月 ハロウィンバッグ・衣装製作 避難訓練
- 10月 七五三バッグ製作 ハロウィンパーティー さつま芋掘り
- 11月 七五三(のし飴と作品持ち帰り) クリスマスオーナメント製作
- 12月 避難訓練
- 1月 お正月遊び(かるた・福笑い・凧あげ) 凧製作
- 2月 節分(的あてゲーム) おひなさま製作
- 3月 ひなまつり(おかしと作品持ち帰り) お別れ会(・昼食クッキング・ビンゴゲーム)

年間入所児童数

単位:人

学年	令和4年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和5年 1月	2月	3月
1年	6	6	5	5	7	4	4	4	4	4	4	4
2年	3	2	2	4	4	2	2	2	2	2	2	2
3年	6	6	6	7	7	5	5	5	5	5	5	5
4年	4	3	3	4	5	3	3	3	3	2	2	2
5年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	19	17	16	20	23	14	14	14	14	13	13	13

6 令和4年度 企業主導型事業所内保育所 東洋保育園関係

1・保育園の運営

公益財団法人児童育成会より企業主導型保育事業として承認。

認可外保育施設として、事業所内保育事業を主軸とし、地域における公益的な取組の一環として運営を実施した。

(1)定員12名

定員内訳 2歳児・5名 1歳児・4名 0歳児・3名

(2)令和4年度（各月初日人数）

単位：人

歳児	月	令和4 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和5 1月	2月	3月
2歳児		1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
1歳児		1	1	2	2	3	4	4	4	4	4	4	4
0歳児		3	2	3	3	3	4	6	7	7	8	8	8
合 計		5	4	7	6	7	8	10	11	11	12	12	12

(3)一時預かりサービス(余裕活用型)実施

定員12名に対して空きがあったため、空きスペースを有効活用し預かりサービスを実施した。

(4)職員の状況

令和4年4月1日現在

単位：人

		園長	保育士	看護師	子育て 支援員	連携 推進	計
正規職員		1	1	0		1	3
非常勤職員	常勤 (再雇用)		1 (1)	1			2 (1)
	非常勤		2		1		9

令和5年3月31日現在

単位：人

		園長	保育士	看護師	子育て 支援員	連携 推進	計
正規職員		1	1	1		1	4
非常勤職員	常勤 (再雇用)		1 (1)	1			2 (1)
	非常勤		2		1		10

(5)災害危険防止等防災訓練等の実施状況

	訓練内容	内 容
4月	避難説明(地震)	園内の避難路を確認。
5月	火災	子どもの安全を確認しながら避難した。
6月	大雨洪水	子どもの安全を確認しながら避難した。
	救命訓練	AEDを利用し、手順を確認した。
7月	地震	子どもの安全を確認しながら避難した。
8月	火災	子どもの安全を確認しながら避難した。
9月	地震	子どもの安全を確認しながら避難した。
	防犯	子どもの安全を確認しながら避難した。
10月	火災	子どもの安全を確認しながら避難した。
11月	安全行動訓練	和歌山市一斉安全行動訓練に参加をした。
	火災	子どもの安全を確認しながら避難した。はしご車が来た。
12月	火災	子どもの安全を確認しながら避難した。
1月	火災	子どもの安全を確認しながら避難した。
2月	防犯・火災	子どもの安全を確認しながら避難した。
3月	大規模災害想定	地震により園舎崩壊。子どもの安全を確認しながら園外に避難した。

(6)健康管理の実施状況

- * 園児 ・内科検診 4月 11月 ・歯科検診 6月 11月 ・検尿検査 5月 11月
・身長・体重測定(毎月)
・毎月ほけんだよりを発行して、健康管理や感染症などの注意を促した
- * 職員 ・健康診断(新学期に1回) ・検便検査(毎月1回)
・インフルエンザワクチンの接種(年1回)
- * 看護師 ・園児・職員の健康管理 体調不良児対応

(7)苦情解決相談窓口への申出

令和4年4月1日～令和5年3月31日

申出件数 0 件

(8)地域との関わり

- ・大屋都姫神社参道清掃
- ・とうようこども園園児との交流

(9)主な設備・改修工事・備品購入等実施状況

- ・和歌山市保育に係る新型コロナウイルス感染症対策事業 300,000円
- 12月 ・園庭固定遊具修繕 141,900円
- 3月 ・ノートパソコン1台 128,000円 ・砂場カバー 209,000円
- ・園庭遊具(ピックアップチャオ) 850,000円 ・南門改修工事 710,000 円